

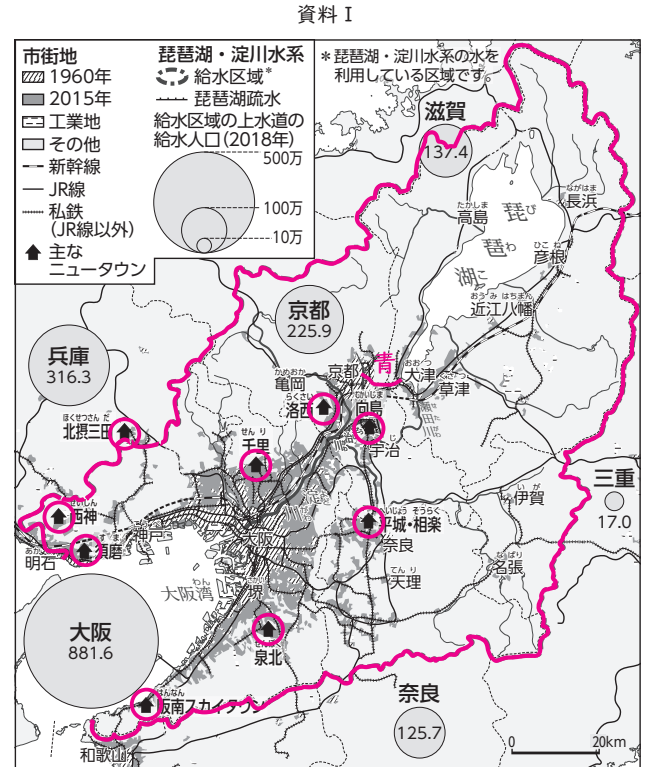
1. 京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川の水

- (1) 資料Ⅰの「琵琶湖疏水」を青色でなぞり、水がどこからどこへ流れているのか確認してみよう。
- (2) 琵琶湖疏水の水は、どのような用途に利用されているのだろうか。

(例) 水道水（上水道）、水力発電 など

- (3) 琵琶湖・淀川水系の給水区域を赤色でなぞってみよう。
- (4) 琵琶湖・淀川水系の給水区域に多くが含まれる、京都、大阪、神戸を中心に人口が集中している地域を何といいますか。

京阪神大都市圏



- (5) (4)の範囲は、大都市の周辺に新たに建設されたニュータウンや、資料Ⅱなどの活用で広がってきました。

① 資料Ⅰでニュータウンの記号を赤色で囲んでみよう。

② 資料Ⅱはどのような方法で陸地を造ったのでしょうか。

(例) 六甲山地の土砂を削って海を埋め立てた。

資料Ⅱ 神戸市のポートアイランド



2. 琵琶湖の水を守る取り組み

- (1) 滋賀県で資料Ⅲのような運動が行われたのはなぜでしょうか。

(例) 琵琶湖周辺の農地で使われた肥料や、工場排水、生活排水などが流れ込んだことにより、赤潮などが発生する問題が起こったため。

- (2) 琵琶湖の水質を保全することが重要な理由を説明してみよう。

(例) 琵琶湖の水が琵琶湖・淀川水系の流域の人々の飲み水や生活用水などに使われているから。

資料Ⅲ



本時のまとめ

◆ 琵琶湖の周辺では、水質を保全するために、どのような取り組みが行われてきたのか説明しよう。

(例) りんを含む合成洗剤の使用中止と、粉せっけんの使用を呼びかける運動を始め、滋賀県は下水道の整備、工場廃水の制限に取り組んだ。また、ヨシを湖岸に植える活動も行われている。